小豆沢タイムス

園長より

梅雨の季節、みなさまいかがお過ごしですか。今年は春先から寒暖の差が大きく、体調も崩しやすい状況が続いています。梅雨寒もありますし、夏のように暑いときもあり、毎日天気予報を聞いて対処が必要なこの時期は、服の準備も難しいですね。さて最近、地震がそこかしこで起こっています。園では防災備蓄などの備えをしておりますが入所施設ではないため、寝具が不足とか、個室がないとか、いろいろと制限があります。園としては、利用者皆さんとの連絡や所在確認などが最優先の大切な事になります。緊急時の情報の確保として、昨年からメールシステムを実施していますが、万が一連絡がつかない状況ですと、困ることが多いと思います。緊急時には災害用伝言ダイヤル（171）も試してみてはいかがでしょうか。ご家族や親族との連絡もあるかと思いますし、園からも情報を入れておくことができます。幾つかの連絡手段を検討して、今後の備えになるよう準備していかれるとよいと思います。

ご挨拶

小豆沢福祉園が開設した2001（平成13）年、蓮根福祉園から異動してきて以来、17年の月日が経ちました。長く心理職としてみなさんと個別学習をしたり、マカトン法の勉強をしたりしてきました。2013（平成25）年から生活支援員としてみなさんと作業や運動などの活動をともにしてきました。宿泊や施設公開、夏祭りや、外出行事などにもたくさん参加しました。どの利用者の方とも楽しい思い出があり、そんな中でのみなさんの笑顔が心に焼き付いています。

長いこと、お世話になりました。新しい仕事をすることになり、年度の途中での退職となってしまいましたが、これからもときどきみなさんに会いに来たいと思います。

利用者、ご家族の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

金子昭代

平成30年6月29日第203号
社会福祉法人東京援護協会
板橋区立小豆沢福祉園

宿泊行事１係１グループ

5月24、25日に1係1グループ目の宿泊行事で軽井沢へ行ってきました。前日までは、雨でしたが、当日は無事に晴れ、さわやかな初夏の軽井沢を探索する事が出来ました。

1日目の昼食は「道の駅甘楽」で昼食。コシのある冷たいうどんの定食を皆さん気に入った様子で、幸先のいいスタートとなりました。食後は、「旧軽井沢商店街」でのお買い物。食べ歩きをしたり、色々なお店を周り、お目当てのお土産を購入していました。 今回の宿泊先は練馬区の施設「ベルデ軽井沢」でした。ホテルや旅館とは少し違った雰囲気のロッジ風な建物に皆さんわくわくされていました。お風呂やボリューム満点の夕食を満喫し、1日目は終了。

2日目は「碓氷峠鉄道文化むら」からスタート。鉄道模型を見たりや手押しトロッコに乗ったりと楽しみました。昼食はご存じ「峠の釜めし」でした。朝ごはんもしっかり食べたはずなのに美味しいものは別腹と皆さん美味しそうに召し上がっていました。最後に休憩に寄った「三芳 PA」では、時間に余裕があったこともあり、ゆっくりお買い物や甘い物を食べることが出来ました。しかし、そこは既に埼玉県。さっきまで、湿気もなくさわやかだったのに、と早速軽井沢が恋しくなる方もいらっしゃいました。

次回、2グループ目は7月5、6日です。2グループ目も天候に恵まれると良いですね。

宿泊行事２係１グループ

6月7日～8日軽井沢に行ってきました。梅雨入りが発表されてからの行事でしたが、お天気に恵まれ二日間とも晴天。

1日目軽井沢に向かうバス内では、東京からどんどんと緑豊かになっていく山々の風景に皆さん歓喜の声が上がり旅の気分も上々でした。お昼は軽井沢プリンスホテルの中華を満喫。旧軽井沢銀座では散策とお買い物、名物のモカソフトを召し上がったりと楽しみました。宿泊先のベルデ軽井沢到着後は、お風呂に入りさっぱりした後、夕食。その後満点の星空を眺めに、ナイトウォークへ。避暑地の夜は少々肌寒かったですが、沢山の星を観ることが出来ました。

2日目朝食を済ませた後、ベルデ軽井沢周辺散策へ。木々の緑深さを感じながら歩いていくと、晴天に映える浅間山を観ることが出来ました。昼食はおぎのやの釜飯を堪能しました。今年の宿泊行事は、自然をいっぱい感じることの出来た旅となりました。